

**平成26年度
高齢者居住施設調査の概要
[養護老人ホーム・生活支援ハウス]**

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市の養護老人ホーム・生活支援ハウスの稼働状況を把握することにより、養護老人ホーム・生活支援ハウスのサービス提供に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

本市において、平成27年3月31日現在で次の養護老人ホーム・生活支援ハウスがサービスを提供しており、この施設の全数を調査客体とした。

サービス種別	事業所	回答数	回収率
養護老人ホーム	1	1	100%
生活支援ハウス	3	3	100%

3 調査の時期

平成27年3月31日

4 調査事項

(1) 養護老人ホーム

年度末の次の数値について調査。

- ① 施設の介護サービスの併設状況（特定施設入所者生活介護の指定の有無等）
- ② 入所定員と入所者数（要介護度別、日常生活自立度別、入所前の住所地別）
- ③ 入所者の生活保護受給の有無、単身・夫婦世帯の有無、利用している介護サービス別の内訳（併設の介護サービス、外部の介護サービス、併設と外部の介護サービス併用）
- ④ 当該年度の入退所者数
- ⑤ 施設の料金（基本料金と収入階層ごとの入所者数、その他の料金）
- ⑥ 年度末現在の入所者の他施設への入所申込者数
- ⑦ ターミナルケアへの対応の有無、実施件数、実施状況、課題
- ⑧ 入所者が受けている主な医療処置、医療処置の実施人数、実施状況、課題

(2) 生活支援ハウス

年度末の次の数値について調査。

- ⑨ 施設の介護サービスの併設状況（特定施設入所者生活介護の指定の有無等）
- ⑩ 入所定員と入所者数（要介護度別、日常生活自立度別、入所前の住所地別）
- ⑪ 入所者の生活保護受給の有無、単身・夫婦世帯の有無、利用している介護サービス別の内訳（併設の介護サービス、外部の介護サービス、併設と外部の介護サービス併用）
- ⑫ 入所前の住所地別の入所者数（日常生活圏域内外）
- ⑬ 当該年度の入退所者数
- ⑭ 施設の料金（基本料金と収入階層ごとの入所者数、その他の料金）
- ⑮ 年度末現在の入所者の他施設への入所申込者数

5 調査の方法

高齢社会課地域包括ケア推進室に調査票の記入を依頼した。(事業所でなければ記入できない部分については、地域包括ケア推進室からそれぞれの事業所に調査票の記入を依頼。)

6 調査の集計

結果の集計は、高齢社会課事業者管理係で行った。

7 利用上の注意

(1) この概要に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

8 調査結果の概要

(1) 養護老人ホーム

(※数値は年度末現在のもの)

【事業所数、定員等】

- 本市の養護老人ホームは、1施設がサービスを提供している。(市が設置し、社会福祉法人が指定管理者として運営している)
- 入所定員は、90人となっている。
- 入所者は、全体的入所定員90人に対して入所者89人となっており、稼働率は98.8%となっている。

【入所前の住所地】

- 入所者の入所前の住所地は、全入所者89人中89人(100%)が鳥取市内となっている。

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

- 要介護度別の入所者は下段の(表1)のとおりとなっており、認定のある入所者が全入所者89人中84人(94.3%)と、約9割を占めている。

(表1) 要介護度別の入所者数

(単位：人)

区分	認定なし	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
入所者	5	7	14	23	25	7	5	3	89
構成比	6%	8%	15%	26%	28%	8%	6%	3%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤字で表示している。

- 認知症高齢者の日常生活自立度別の人数は下段の(表2)のとおりとなっている。このうちⅡaからMまでの入所者は89人中50人(56.1%)となっており、約5割の入所者が認

知症により第三者の支援を必要としている。

(表2) 日常生活自立度別の入所者数

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
入所者	13	26	20	17	7	4	0	2	89
構成比	15%	29%	22%	19%	8%	4%	0%	2%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計(表3)すると、入所者の主な状態像は「要介護認定なしから要介護2」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度なし～IIb」の領域に分布している。

(表3) 鳥取市内の養護老人ホーム入所者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		なし	要支援		要介護						計	
	判定基準	見られる症状・行動の例		1	2	1	2	3	4	5	その他		
なし			5人	2人	5人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	13人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	5人	9人	10人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	26人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。											
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	0人	0人	0人	11人	8人	0人	1人	0人	0人	0人	20人
	b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	0人	0人	0人	1人	12人	2人	1人	1人	0人	0人	17人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。											
	a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	0人	0人	1人	4人	2人	0人	0人	0人	7人
	b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	4人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
		計	5人	7人	14人	23人	25人	7人	5人	3人	0人	0人	89人

「要介護認定なし～要介護2」、「自立度なし～IIb」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態像。

【備考】
 1 上記は平成27年度に本市が実施した高齢者居住施設調査の集計結果
 2 調査時点：平成27年3月31日現在
 3 回答数：1事業所/1事業所（回答率100%）
 4 「その他」には、平成27年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

【介護サービスの利用状況】

■要介護認定のある入所者 84 人のうち、69 人が外部の介護サービスを利用している。

【入退去の状況】

■入退去の状況は下段の（表 4）のとおりとなっている。

（表 4）施設の入退去の状況

（単位：人）

定員 (A)	入退去（月平均）		入退去割合 (①+②) × 0.5 / (A)
	入所 ①	退去 ②	
90	1	1	1.1%

【施設の料金】

■施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入所者数は（表 5）のとおりとなっている。このうち、本人徴収基準額が 0 円である入所者が全入所者 89 人中 12 人（13.4%）、本人徴収基準額が 47,800 円である入所者が全入所者 89 人中 10 人（11.2%）を占めており、構成割合が最も多くなっている。

■上記以外にも、その他の料金（表 6）が必要となっている。

(表5) 施設の基本料金(月額)と収入階層ごとの入所者数

対象収入による階層区分	本人徴収基準(月額)と入所者		左記の入居者の「扶養義務者費用徴収基準月額」別の内訳																					
	費用徴収基準額	入居者	A	B	C1	C2	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	D10	D11	D12	D13	D14				
1	0～270,000円	0円	12人					2	1		1													
2	270,001～280,000	1,000円	人																					
3	280,001～300,000	1,800円	1人																					
4	300,001～320,000	3,400円	人																					
5	320,001～340,000	4,700円	1人		1																			
6	340,001～360,000	5,800円	2人		1																			
7	360,001～380,000	7,500円	1人		1																			
8	380,001～400,000	9,100円	人																					
9	400,001～420,000	10,800円	2人		1			1																
10	420,001～440,000	12,500円	1人		1																			
11	440,001～460,000	14,100円	1人																					
12	460,001～480,000	15,800円	1人																					
13	480,001～500,000	17,500円	人																					
14	500,001～520,000	19,100円	2人	1	1																			
15	520,001～540,000	20,800円	4人		1			1																
16	540,001～560,000	22,500円	2人			1																		
17	560,001～580,000	24,100円	1人					1																
18	580,001～600,000	25,800円	1人																					
19	600,001～640,000	27,500円	3人		2																			
20	640,001～680,000	30,800円	1人																					
21	680,001～720,000	34,100円	6人				1		1															
22	720,001～760,000	37,500円	3人		1																			
23	760,001～800,000	39,800円	4人	1																				
24	800,001～840,000	41,800円	4人					1	1															
25	840,001～880,000	43,800円	2人				1																	
26	880,001～920,000	45,800円	3人		1																			
27	920,001～960,000	47,800円	10人		1																			
28	960,001～1,000,000	49,800円	1人																					
29	1,000,001～1,040,000	51,800円	2人			1																		
30	1,040,001～1,080,000	54,400円	4人																					
31	1,080,001～1,120,000	57,100円	3人		1																			
32	1,120,001～1,160,000	59,800円	4人		2																			
33	1,160,001～1,200,000	62,400円	1人																					
34	1,200,001～1,260,000	65,100円	2人		2																			
35	1,260,001～1,320,000	69,100円	人																					
36	1,320,001～1,380,000	73,100円	人																					
37	1,380,001～1,440,000	77,100円	人																					
38	1,440,001～1,500,000	81,100円	1人		1																			
39	1,500,001円以上	対象収入のうち 1,500,000円を超過した 額×0.9÷12+81,100 円(100円未満は切り捨 てる。	3人		1																			
			計	89人	2	19	2	2	5	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(表6) その他の料金

区分		費用		料金の内容
電気代	①	100	円	冷蔵庫
電気代	②	100	円	TV
電気代	③	200	円	電気ポット
	④		円	いずれも部屋に持ち込んでいる利用者のみ
	⑤		円	
月額(①～⑤)		400	円	

【介護保険施設への入所申込みの状況】

- 入所者のうち、養護老人ホームを退去して、介護保険施設への入所を希望している者は下段（表7）のとおりとなっている。

（表7）介護保険施設への入所申込み者

【全施設】

（単位：人）

入所者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					
		特養	老健	介護療養	特定施設	GH	その他
89	4	4	0	0	0	0	0

【看取りや医療への対応状況】

- 平成26年度末現在、入所者は医療処置の提供を受けていない。

（2）生活支援ハウス

（※数値は年度末現在のもの）

【事業所数、定員等】

- 本市の生活支援ハウスは、全体で3施設がサービスを提供している。（市が設置し、社会福祉法人が指定管理者として運営している施設1、市が社会福祉法人に事業委託して運営している施設2）
- 入居定員は、3施設全体で50人（1施設当たり定員最小10人～最大20人）となっている。
- 入居者は、全体の入居定員50人に対して入居者48人となっており、稼働率は96%（1施設当たり最小90%～最大100%）となっている。

【入居前の住所地】

- 入居前の住所地は下段の（表8）のとおりとなっている。

(表8) 入居前の住所地

【全施設】

(単位：人)

区分		人数	構成比
入居前の住所地が鳥取市内の方 (①+②) I		45 人	93.7%
施設の所在する日常生活圏域内から入居	①	29 人	60.4%
	内訳	事業所と同じ小学校区から入居	8 人 16.6%
		上記以外	21 人 43.8%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居 ②		16 人	33.3%
入居前の住所地が鳥取市外の方 II		3 人	6.3%
合計 (I+II)		48 人	100.0%

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■要介護度別の入居者は下段の(表9)のとおりとなっており、認定のある入居者が48人中27人(56%)と、約5割を占めている。

(表9) 要介護度別の入居者数

【全施設】

(単位：人)

区分	認定なし	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
入居者	21	6	7	10	3	1	0	0	48
構成比	44%	13%	14%	21%	6%	2%	0%	0%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

■要介護認定がある入居者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度別の人数は下段の(表10)のとおりとなっている。このうちⅡaからMまでの入居者は48人中10人(20.8%)となっており、約2割の入居者が認知症により第三者の支援を必要としている。

(表10) 日常生活自立度別の入居者数

【全施設】

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
入居者	32	6	3	5	0	0	0	2	48
構成比	67%	13%	6%	10%	0%	0%	0%	4%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計（表11）すると、入居者の主な状態像は「要介護認定なしから要介護2」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度なし～IIb」の領域に分布している。

（表11）鳥取市内の生活支援ハウス入居者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		なし	要支援		要介護						計		
	判定基準	見られる症状・行動の例		1	2	1	2	3	4	5	その他			
なし			21人	5人	5人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	32人
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。		0人	1人	0人	4人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。													
a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれぞれでできたことにミスが目立つ等	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	0人	0人	2人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	5人
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さがとどき見られ、介護を必要とする。													
a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・音声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
		計	21人	6人	7人	10人	3人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	48人

「要介護認定なし～要介護2」・「自立度なし～IIb」が本市所在の事業所における利用者の

【備考】
 1 上記は平成27年度に本市が実施した高齢者居施設調査の集計結果
 2 調査時点：平成27年3月31日現在
 3 回答数：3事業所/3事業所（回答率100%）
 4 「その他」には、平成27年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

【併設の介護サービスとその利用状況】

■回答のあった3施設すべてに併設の介護サービスがあり、通所介護に限ってみると、3施設すべてが併設をしている。(表12参照)

■入居者48人中27人(56%)が介護サービスを利用しており、介護サービス利用者27人中9人(33%)は併設の介護サービスを利用している。残りの18人(67%)は外部のサービスを使っている。(表13参照)

(表12) 併設の介護サービスの状況

【全施設】

(単位：施設)

事業所	併設サービス		併設サービスの内訳					
	有	無	通所介護	訪問介護	居宅介護支援	小規模多機能	GH	その他
3	3	0	3	1	1	0	1	2
100%	100%	0%	100%	33%	33%	0%	33%	67%

(備考) 上記の表は構成割合の多い物を赤太字で表示している。

(表13) 併設の介護サービスの状況

【全施設】
(単位：人)

入居者	要介護認定		介護サービス利用者	利用している介護サービス別の内訳		
	有	無		サービス別の内訳		
				I 併設の介護サービス	II 外部の介護サービス	I・IIを併用
48	27	21	27	5	18	4
100%	56%	44%	100%	19%	67%	14%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

【入退去の状況】

■入退所の状況は下段の(表14)のとおりとなっている。

(表14) 施設の入退所の状況

【全施設】

(単位：人)

定員 (A)	入退去 (月平均)		入退去割合 (①+②) × 0.5/ (A)
	入居 ①	退去 ②	
50	0	0	0%

【施設の料金】

■施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入居者数は（表 1 5）のとおりとなっており、対象収入額が 1,200,000 円以下で基本月額料金が無料の方が 48 人中 39 人（81.2%）と 8 割を占めている。

（表 1 5）施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入居者数

【全施設】

対象収入による階層区分	基本料金(月額)と入居者				計 (入居者)
	単身世帯	入居者	単身世帯以外	入居者	
1	無料	37 人	無料	2 人	39 人
2	4,000 円	2 人	5,600 円	0 人	2 人
3	7,000 円	1 人	9,800 円	0 人	1 人
4	10,000 円	2 人	14,000 円	0 人	2 人
5	13,000 円	2 人	26,000 円	0 人	2 人
6	16,000 円	0 人	32,000 円	0 人	0 人
7	19,000 円	0 人	38,000 円	0 人	0 人
8	22,000 円	1 人	44,000 円	0 人	1 人
9	25,000 円	0 人	50,000 円	0 人	0 人
10	30,000 円	0 人	60,000 円	0 人	0 人
11	35,000 円	1 人	70,000 円	0 人	1 人
12	40,000 円	0 人	80,000 円	0 人	0 人
13	45,000 円	0 人	90,000 円	0 人	0 人
14	50,000 円	0 人	100,000 円	0 人	0 人
	計	46 人	計	2 人	48 人

■上記以外にも、施設によっては、その他の料金（表 1 6）が必要となっている。

（表 1 6）その他の料金

No	事業所名	その他の料金					
		月額	内訳				
			共益費	食費	電気代	洗濯機	乾燥機
1	A 事業所	50,875	8,875	42,000	実費	-	-
2	B 事業所	55,400	9,000	43,200	3,000	100	100
3	C 事業所	0	-	-	-	-	-

（備考）洗濯機代・乾燥機代は 1 回の利用につき上記料金となっている。

【介護保険施設への入居申込みの状況】

- 入居者のうち、生活支援ハウスを退去して、介護保険施設への入居を希望している者は下段（表 17）のとおりとなっている。

（表 17）介護保険施設への入居申込み者

【全施設】

（単位：人）

入居者	他施設へ 申込み者	内訳（申込み先の施設）					その他
		特養	老健	介護 療養	特定 施設	GH	
48	3	3	0	0	0	0	0

【その他】

- 日常生活圏域別の稼働率は下段の（表 18）のとおりとなっている。
- 事業所別の意見は下段の（表 19）のとおりとなっている。

(表18) 日常生活圏域別の稼働率【生活支援ハウス】 1/2

計画区域			生活支援ハウス [平成26年度(年度末現在)]																		
計画区域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	登録者の住所地							要介護なし	要介護あり	要支援		要介護					鳥取市被保険者利用率 (B1)/(B)	稼働率 (B)/(A)
				定員 (A)	入居者 (B)	日常生活圏域内		鳥取市外 (みなし指定)	その他	1			2	1	2	3	4	5			
						事業所と同じ 小学校区	左記以外												日常生活圏域外		
A	中ノ郷	浜坂	1	20	20	1	3	15	1	13	7	1	3	2	1				95%	100%	
		中ノ郷																			
		計	1	20	20	1	3	15	1	13	7	1	3	2	1				95%	100%	
	北	城北																			
		久松																			
		遷喬																			
		計																			
	西	醇風																			
		富桑																			
		明德																			
	計																				
福部	福部																				
	計																				
	合計		1	20	20	1	3	15	1	13	7	1	3	2	1				95%	100%	
B	東	修立																			
		稲葉山																			
		岩倉																			
		計																			
	南	倉田																			
		美保南																			
		日進																			
		美保																			
		計																			
	桜ヶ丘	米里																			
		津ノ井																			
		若葉台																			
		面影																			
	計																				
国府	宮下																				
	大矛																				
	成器																				
	谷																				
	あおば																				
	計																				
	合計																				
C	江山	神戸																			
		大和																			
		美穂																			
		計																			
	高草	大正																			
		東郷																			
		松保	1	20	19	1	16		2	5	14	4	3	5	1	1			89%	95%	
豊実																					
	計	1	20	19	1	16		2	5	14	4	3	5	1	1			89%	95%		
	合計	1	20	19	1	16		2	5	14	4	3	5	1	1			89%	95%		

(表 19) 事業所別の意見 [生活支援ハウス]

《自由記載》

事業所	内容
C事業所	各個室にメーターがなく利用者から水道光熱費を一切徴収していない。